

宮城県がん診療連携協議会がん登録部会
院内がん登録実務指導者リスト作成・公表実施要領

(目的)

第1 この要領は、宮城県がん診療連携協議会がん登録部会（以下「部会」という。）における院内がん登録実務指導者リスト（以下「指導者リスト」という。）の作成及び公表の実施に関し必要な事項を定め、もって、地域における院内がん登録の実務の継続性及び質の向上並びにデータの利活用に貢献することを目的とする。

(定義)

第2 この要領において、「院内がん登録」とは、がん医療の提供を行う病院において、そのがん医療の状況を適確に把握するため、当該病院において診療が行われたがんの罹患、診療、転帰等に関する詳細な情報を把握し、及び保存することをいう。

2 この要領において、「院内がん登録実務指導者（以下、単に「指導者」という。）」とは、院内がん登録の実務の経験を相当程度有し、後進の指導に当たる意欲をもった者のことをいう。

(候補者の推薦)

第3 部会長は、指導者リストの作成のため、毎年度、会員施設の長に対して、別紙様式1により指導者の候補者の推薦を求めるものとする。

2 前項の規定に基づく推薦の基準は、次の各号のすべてを満たす者とする。なお、経験年数などの実績については、当該者がかつて所属していた施設での経験を合算することができるものとする。

- (1) 国立がん研究センターが行う院内がん登録実務中級認定者
- (2) 院内がん登録の実務の経験年数が5年以上
- (3) 当該施設の院内がん登録の実務の責任者としての経験、または、それに準じた経験があること
- (4) 当該施設の院内がん登録の集計を実施した経験があること
- (5) 院内がん登録に関する講演、指導（部会が開催する研究会での講義や解説を含む。）、学会発表、論文投稿などの実績があること

3 第1項の規定に基づき依頼を受けた施設の長は、当該施設に該当する者がいる場合は、別紙様式2により候補者として推薦するものとする。

(指導者リストの作成)

第4 部会長は、指導者リストの作成のため、第3の第2項の規定に基づき推薦された者について、一覧を作成し、部会に諮るものとする。

2 前項の規定に基づき承認された場合、当該一覧を指導者リストとする。

(指導者リストの公表)

第5 部会長は、第4の第2項の規定に基づき承認された指導者リストについて、別紙様式3によりすみやかに部会のホームページ上で公表するものとする。

2 部会長は、前項の規定に基づき公表した際には、すみやかに会員施設の長及び部会の委員あてに公表した旨の連絡を行うものとする。

(指導者リストの修正)

第6 部会の委員は、第5の規定に基づき公表された指導者リストのうち、当該施設から

推薦した者について変更があるときは、部会の事務局に対して、すみやかに連絡を行うものとする。

- 2 前項の規定に基づく連絡があった場合、部会長は、氏名や所属の変更等、変更の内容が軽微なものについてはその権限により承認し、指導者リストを更新できるものとする。ただし、変更の内容が重要なものについては、部会に諮るものとする。

(異動・退職の扱い)

第7 指導者の異動や退職に伴い、第6の規定に基づき事務局に対して連絡を行った場合であって、部会の委員から、余人をもって他に代えがたいという申出があったときは、本人の同意のもと、引き続き指導者リストに掲載することについて、発議をすることができる。

- 2 前項の規定に基づく発議があった場合、部会長は、部会に諮るものとする。

- 3 前項の規定に基づき引き続き指導者リストに掲載することになった者については、当該年度以降は、事務局が本人の同意のもと、事務局からの推薦者として扱うことが出来ることとし、変更があるときは、第6の規定に従うものとする。なお、この場合において、第3の第2項の規定に基づく基準については、最初の承認の際の推薦時において満たしていることから、この基準を満たしているものとして扱うこととする。

(要領の改廃)

第8 この要領の改廃は、がん登録部会の議を経て行うものとする。

(その他)

第9 その他、この要領に定めるもののほか、の実施に関し、必要な事項は部会長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和6年7月8日から施行する。

(元号) ○○年○○月○○日

宮城県がん診療連携協議会
会員施設長 あて
(院内がん登録担当 取扱い)

宮城県がん診療連携協議会
がん登録部会 部会長
○○ ○○
(施設名)

院内がん登録実務指導者リスト作成・公表にかかる
候補者の推薦について (依頼)

このことについて、宮城県がん診療連携協議会がん登録部会院内がん登録実務指導者リスト作成・公表実施要領（令和○年○月○日施行）第3の規定に基づき、院内がん実務指導者リストの作成のため、指導者の候補者の推薦を依頼します。

つきましては、該当者がいる場合には、別紙様式2によりご返答くださるようお願いいたします（回答期限：○年○月○日）。

なお、推薦の基準は、次の各号のすべてを満たす者とされており、経験年数などの実績については、当該者がかつて所属していた施設での経験を合算することができるものであることをご承知願います。

- (1) 国立がん研究センターが行う院内がん登録実務中級認定者
- (2) 院内がん登録の実務の経験年数が5年以上
- (3) 当該施設の院内がん登録の実務の責任者としての経験、または、それに準じた経験があること
- (4) 当該施設の院内がん登録の集計を実施した経験があること
- (5) 院内がん登録に関する講演、指導（部会が開催する研究会での講義や解説を含む。）、学会発表、論文投稿などの実績があること

(元号) ○○年○○月○○日

宮城県がん診療連携協議会
がん登録部会長

あて

(施設名)

(職名)

○○ ○○

院内がん登録実務指導者リスト作成・公表にかかる
候補者の推薦について (回答)

このことについて、下記のとおり回答します。

記

- 1 氏名 (よみがな)
- 2 所属・職名
- 3 推薦基準についての実績 (経験年数などの実績については、当該者がかつて所属していた施設での経験を合算することができる。)

基準	実績
国立がん研究センターが行う院内がん登録実務中級認定者	認定年月日
院内がん登録の実務の経験年数が5年以上	実務期間 年 月 日から 年 月 日まで
当該施設の院内がん登録の実務の責任者としての経験、または、それに準じた経験があること	経験期間 年 月 日から 年 月 日まで
当該施設の院内がん登録の集計を実施した経験があること	(例) ○年集計 (例) ○年生存率集計
院内がん登録に関する講演、指導 (部会が開催する研究会での講義や解説を含む。)、学会発表、論文投稿などの実績があること	(例) 別添のとおり

* 複数名を同人に推薦される場合には、1～3の内容をこの下、あるいは、別紙に掲載して添付いただいて構いません。

